

18 長野県木曽青峰高等学校生徒会

長野県塩尻市、木曽郡上松町、南木曽町、木祖村、王滝村、大桑村、木曽町

農業、林業6次産業化、企業との連携、荒廃農地対策、移住・定住、学生・若者の活躍

高校生が創る木曽の未来

活動の経緯

木曽谷は平成28年度に日本遺産に認定されている一方で、県内でもトップクラスの人口減・高齢化が進んでいることから、平成19年度より、地元の高校生が地域の多様な世代と連携しながら木曽の魅力の発見・発信に取り組む。

活動の概要

地域資源の6次産業化に向けた商品開発、地域の遊休農地や荒廃山林の調査と活用の検討及び冊子「木曽 Discovery」による情報発信などに挑戦。



伝統野菜栽培普及「伝統野菜のある暮らし」

里山再生「青峰里山プロジェクト」

活動の成果、主な実績等

○15年前から「すんき」を始めとした伝統野菜9種などの伝統野菜の栽培・活用・普及に取り組み、令和5年度は木曽ヒノキの曲げ弁当を使用した「青峰里山弁当」をプロデュースし、広くPRしている。

○令和4年度より、地域の協力を得ながら冊子「木曽 Discovery」を発行し、地域の魅力を発信。さらに生徒会HPを通した木曽路の情報発信を企画し、高校生自らが様々な機関と連携し地域について学びを深めている。

○遊休農地や荒廃山林の活用に向けた「里山プロジェクト」では、令和4年度に再生水田で地元小学生とお米の栽培に取り組んでいる。

○木曽地域への移住定住促進に向け、UIターン希望者に向け、伝統野菜料理や栽培の魅力を伝えるリーフレット「伝統野菜のある暮らし」を生徒達が作成し、地域内外での様々な交流を通して情報発信を推進。